

あだち 教育 だより

発行日 平成 27 年 7 月 14 日
発行 足立区教育委員会
編集 教育政策課

NO. 62

待ちに待った夏休み月思いつき
り遊びたいところですが、宿題・・・
特に自由研究は何をやるのか悩みま
せんか。そんな時、楽しみながら宿
題ができたなら一石二鳥ですよ。足
立区で楽しく遊んで、学べる場所を
2～3 ページでご紹介します。



©天野行雄

この夏は

楽しい

体験で 学ぼう!

★ 映画制作

★ あだち自然体験デー

★ あだち妖怪??

★ パソコン分解体験

望遠鏡工作教室+観望会

「望遠鏡をつかって月を見よう！」

※詳細は、2ページをご覧ください。

※画像はイメージです。





つくった映画は
プラネタリウムで上映!



★ なつやすみ こども映画部 ～3日間で映画づくりを体験!～

シナリオ・演出・カメラ・出演…すべて自分たちで考え、映画を制作するワークショップです。映画監督の杉田協士さんや中高生の先輩が徹底サポートするので、初めての子でももちろん大丈夫。完成した作品は、何とプラネタリウムで上映! ギャラクシティで、夏休みの思い出を映像に残してみませんか?

日時●8月14日(金)・15日(土) 各日午前10時～午後4時
16日(日) 午前11時～午後5時

対象●小学生

定員●15名(先着)

費用●2,000円(全3日分/後日、完成作品のDVDを郵送予定)

申込●電話(☎5242-8161)で受付中

★ 体験を♪

と同じように「体験」にも、力を入れて心を広げ、学ぶ意欲を高めることをめざし、家から飛び出しているんなことにチャ



あらかわ

1面の
イベント
について

★ 望遠鏡工作教室+観望会 「望遠鏡をつくって月を見よう!」

日時●8月20日(木)・21日(金)
工作教室…午後2時～3時
観望会…午後7時～8時

対象●小学3年生～中学3年生(観望会は、子ども1名につき保護者1名同伴必須)

定員●各日6名(先着)

費用●1,890円(望遠鏡キット代
※三脚は含まれません)

申込●7月25日(土)から
電話(☎5242-8161)で申込



あだち自然体験デー

泥んこ覚悟、着替えを持って、思いっきり楽しもう!
「荒川の生きもの大調査隊」や「池いけ! 水辺たんけん隊」では、普段入れない荒川本流や河川敷の池でこの日限定で、スタッフと一緒に水辺に住む生きものを捕まえて調査します。ほかにも秘密基地づくりや小さな子ども向けの自然体験型のプログラムなどがたくさんあります。

日時●9月23日(祝) 午前10時～午後4時
場所●荒川河川敷(新田二～三丁目先)

「新田わくわく♥水辺広場」

費用●無料 ※プログラムにより異なります

申込●当日直接会場へお越しください。

※安全のため、長袖・長ズボンをお勧めします。



荒川でカニも捕まえられるよ

他にも
イベント
盛りだくさん

郷土博物館
☎3620-9393

ミニ「じくちあんどん地口行灯」づくり

江戸時代のダジャレ「地口」で行灯づくり



伊興遺跡公園
地域文化課 文化財係 ☎3880-5984

めざせ! 古代ものづくりマスター 2015
ミニチュア土器づくりや古代衣装体験など

※詳細は、お電話ください。





妖怪好きのみんな
集まれ!



ギャラクシティ



↑ 古道具の壺と蛇のアオダイショウの尻尾を組み合わせでつくった妖怪



★ 夏のおわりの妖怪ワークショップ
～きみの「あだち妖怪」をつくろう～



妖怪にとっても詳しい造形作家の先生から、日本各地に伝わる妖怪と人間との関係や、妖怪はどうすれば見つけれられるのか? など、たくさんの秘密を教えてください! その後に、足立区にまつわる動物や古道具などのモチーフを切り貼りして、自分で考えた「あだち妖怪」をつくります。妖怪好きのみんな集まれ!

- 日時 ● 8月23日(日)
午前10時/午後1時/
午後3時開始 ※各1時間30分
- 対象 ● 小・中学生
- 定員 ● 各回20名(先着)
- 費用 ● 無料
- 申込 ● 7月25日(土)から電話(☎5242-8161)で申込

↑ 全国各地の妖怪たちを、造形活動を通じて紹介する日本物怪観光の怪長・天野行雄さんが先生!

夏こそ

豊かな

教育委員会では「基礎学力の定着」に取り組んでいます。体験を通じて好奇しています。1年で最も長く暑い夏休みをレンジしよう。



パソコンを分解してみよう!

家で電化製品を分解したら親に怒られますよね。でも、このイベントではそんな心配なく自由にパソコンの分解を楽しめます☆そして、分解して出てくるのは、プラスチックに、アルミに、レアメタル・・・これらの部品の多くは、リサイクルできる貴重な資源です。

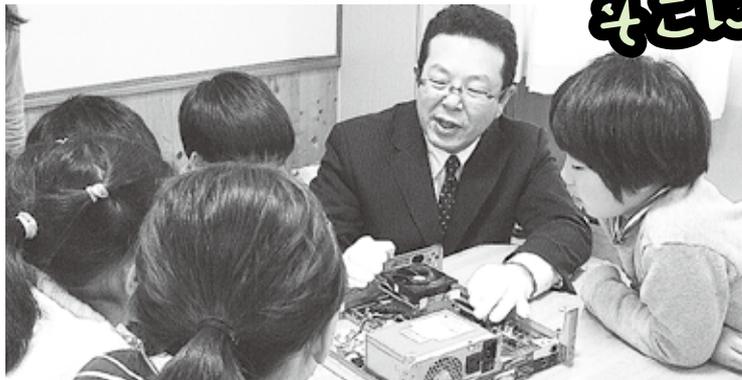
分解することで再生利用の道が切り開かれ、環境にやさしいリサイクルにつながります!

夏休みの自由研究で、このリサイクル体験をして、地球環境を守る第一歩を踏み出そう!

足立区
リサイクルセンター
あだち再生館



パソコンを分解してみるぞ。
そこには資源の山がある!



- 日時 ● 8月8日(土) 午前10時～正午
- 対象 ● 小学3年生～中学3年生
(小学3年生は保護者同伴)
- 定員 ● 20名(抽選)
- 費用 ● 100円
- 申込 ● 7月14日(火)～8月1日(土)まで
電話(☎3880-9800)、窓口、または住所、氏名(フリガナ)、電話番号、「パソコン分解体験」をFAX(☎3880-9801)・ハガキで送付。

↑ パソコンを分解してみよう! 足立区リサイクルセンター あだち再生館 ☎ 3880-9800

問合せ先

がねる！ 重くみる！

ら、発見があった～

ことを通じて職業や仕事を体験する学習活動です。まず、その体験をご紹介します。



ぼくたち、わたしたちは 1日帝京科学 大学生



看護学科による「いのちの教育」赤ちゃんを抱っこしてみよう」

区立中学校に通う生徒が、帝京科学大学でキャンパスライフを体験します。大学生活を体験することで、学問の面白さに気づくとともに、大学がどのようなところかを知り、将来の進路を考えるきっかけとしています。

大学の先生による大教室での講義や実習施設等の見学、学生食堂体験など、参加した生徒からは「普段できないことができて嬉しい」「大学に行けるようにしっかり勉強したい」「将来の参考になった」との声もあります。

今の時代、自分の将来についてインターネットで調べて、思いを巡らせることができるようになりました。でもそれはあくまで想像の世界。実際に色々なことを経験し、成功や失敗を通じて手ごたえを感じていくことこそ大切なことです。そうすることで、自分がどんなことに向いているのか、何をしたいのか少しずつ見えてきます。

ここでは、子どもたちが自分の将来のために、自分と向き合うきっかけとなるような取り組みをいくつか紹介します。

平田さんは、花の大型専門店でも、お花の水やり、切り花の加工、値札シール張りなどを行いました。

「お花屋さん、花や植物に囲まれて楽しそうな仕事だと思っていたけど、実際は裏方の仕事が多くて、特に水やりが大変でした」と想像と現実の違いを身をもって感じましたが、「お客様が笑顔で買い物してくれて楽しかった」と確かな充実感を得たようです。「今後の中学生活では、もっと大きな声であいさつしたり、笑顔で人と接することができるようになりたい」と目標もできました。

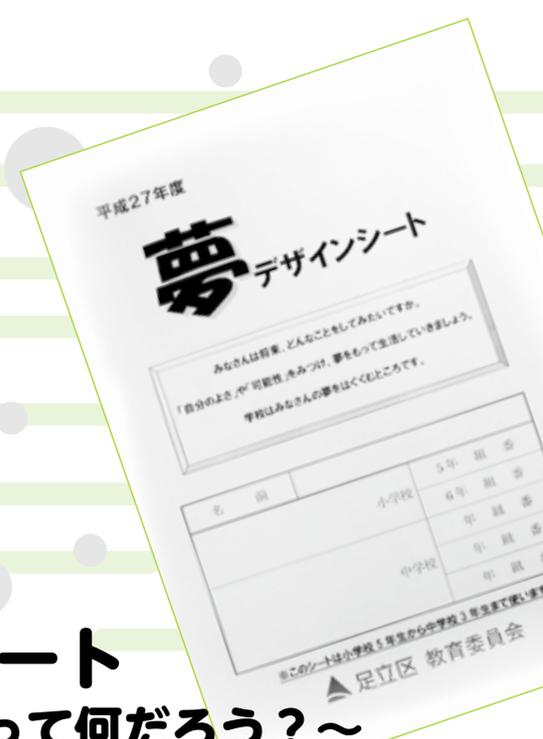
ひらたゆうみ
平田結海さん（2年生）

夢デザインシート ～自分の将来の夢って何だろう？～

区立小・中学校では、小学校5年生～中学校3年生にかけて「夢デザインシート」を活用し、自分の良いところや将来の可能性について考える機会を設けています。

「現在の自分」と「未来の自分」を比較してみることで、「これからどんなことをがんばれば良いのか」「どのような進路に進んでいけば良いのか」がはっきりしてきます。

この取り組みを通じて、子どもたちが、主体的にホームページなどで情報を調べたり、必要な話を聞いたりする姿が多く見られるなど、学習意欲の向上につながっています。



体験の積分の体

あだちドリームプロジェクト ～夢への一歩～

日時 ● 9月23日(祝)
 <第一部> 午後1時40分～2時10分
 <第二部> 午後2時20分～3時30分
 場所 ● 足立区役所中央館2階庁舎ホール
 対象 ● 区内の小学4年生～小学6年生
 定員 ● 200名(先着)
 費用 ● 無料
 申込 ● (公社)東京青年会議所 足立区委員会 専用申し込みフォーム
 (<http://tokyo-jc.or.jp/adachi/dream-entry>)より
 9月1日(火)から申込開始。

第一部 足立区長による講演 テーマは「夢の実現のために!」

近藤区長は、警察官・税理士・都議会議員、と区長になるまでさまざまな職業を経験してきました。なぜ、警察官や税理士を経験したのか、当時の目標はどうだったかなど、普段聞けない話が満載です。



第二部 職業体験

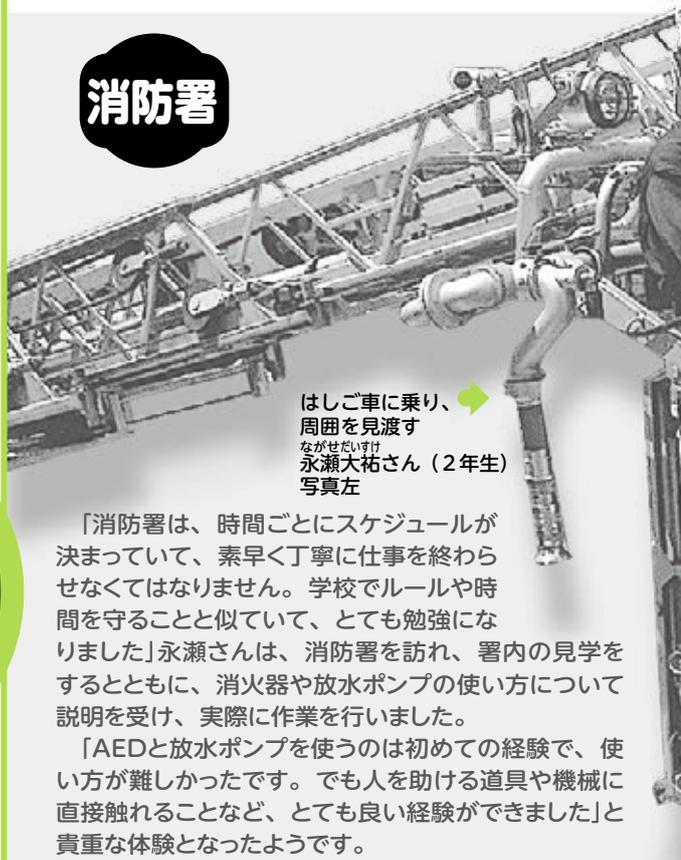
消防士、ネイリスト、TV局、弁護士、銀行員、花屋、化学メーカー、大工など昨年の開催で人気だった10個のお仕事体験ブースを予定。そのうちの2個を選んで、体験できます。その中で、どんな仕事か、仕事の楽しさや苦労など、経験しなければわからない発見があるはず。昨年、テレビ局を経験した子どもからは、「カメラが回るととても緊張したが最後は上手に話すことができた」と貴重な経験をしたという声もありました。子どもたちにとって普段は触れることのない「仕事」またその先にある「夢」について考える良いきっかけとなるはず。ぜひご来場ください。



職場体験 ～やってみた

「職場体験」は、区立中学校に通う生徒が、職場で働くしたり、働く人々と接したりすることで進路について考え、主に中学2年生を対象に、年に2～5日程度実施している。今回は5月14日・15日に行われた東島根中学校の2つの

消防署



はしご車に乗り、
周囲を見渡す
ながたけいすけ
永瀬大祐さん(2年生)
写真左

「消防署は、時間ごとにスケジュールが決まっています。素早く丁寧に仕事を終わらせなくてはなりません。学校でルールや時間を守ることに似ていて、とても勉強になりました」永瀬さんは、消防署を訪れ、署内の見学をするともに、消火器や放水ポンプの使い方について説明を受け、実際に作業を行いました。

「AEDと放水ポンプを使うのは初めての経験で、使い方が難しかったです。でも人を助ける道具や機械に直接触れることなど、とても良い経験ができました」と貴重な体験となったようです。

花屋



↑ たくさんのお花の苗に囲まれながら作業をする

4月23日、新教育委員会制度の目玉ともいえる第1回総合教育会議(※本ページ下段左「その2」参照)が開催されました。

近藤区長からは、子どもの貧困対策元年をスタートさせたことについて、子どもたちの未来のためにさまざまなネットワークを駆使して、将来の貧困の連鎖を断ち切ろうと話がありました。

私は「米百俵」の話を思い出しました。戊辰戦争後、食べる物にも事欠くほど困窮していた長岡藩に支援の米百俵が届きます。これを藩士小林虎三郎は、「食えないからこそ、学校を建てて人材を育てるのだ」との信念を貫き、他の藩士の反対を押し切り、米百俵を換金し、学校を建てたということです。この「米百俵」の精神は、長岡の復興につながったばかりか、昭和20年8月の大空襲、平成16年10月の新潟県中越地震の際にも語り継がれ、生かされています。

総合教育会議の席で私は、「あだちU16教育プログラム」や「高1クライシス(中退問題)」への対応、「ビューティフル・スクール運動」など、新しい取り組みについて説明しました。これらの根底にある精神は「成長を実感できる教育」です。

子どもたちには「できた!」「わかった!」の喜びを、

教師には教え、育てることの素晴らしさを、保護者・地域には見守ることの生きがいを、それぞれ感じていただける教育こそが、私のめざす教育です。

足立区はこれまで、基礎学力の定着を通じて、子どもたちの「たくましく生き抜く力」を育ててきました。今後は、これを一步進め、子どもたちに学ぶことの楽しさを体得させ、自ら「成長できる力」を醸成して参ります。

日本の未来を担う子どもたちに、これまで以上に大きな声援を送ってあげてください。国づくりは人づくりから。これが「米百俵」の精神です。

教育長コラム

定野新教育長が語る!

『私のめざす足立の教育』



教育長
さだの つかさ
定野 司

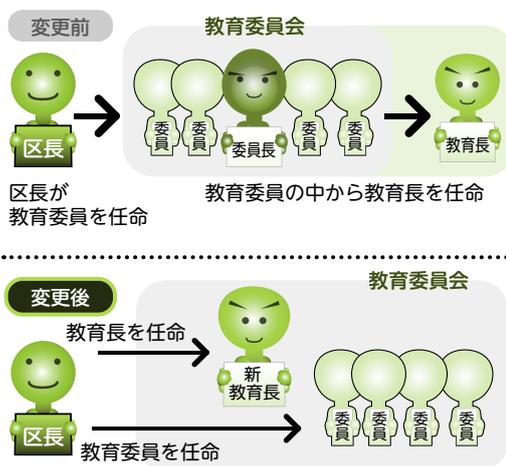
※ その2



区長はこれまで、教育委員会の事業について、予算編成・執行などの形で関与していました。今後は新たに、「総合教育会議」を設置し、区長と教育委員会で協議・調整することで、さらに連携を強化することができます。

区長と教育委員会の連携を強化!

その1



責任者を
分かりやすく

教育委員長と教育長を一本化!

教育委員長と教育長のどちらが責任者か分かりづらかったものが、教育長に一本化することで分かりやすくなります。また、責任者が常勤の教育長となり、迅速な会議の招集や、危機管理体制が強化されます。さらに、区長は、教育長を間接的にしか任命していなかったものが、直接任命することになり任命責任もはっきりします。

平成27年度より、教育委員会制度が変更となりました。その2つの変更点をお知らせします。

昨年度テーマ
我が家のおすすめ料理！
足立区長賞受賞作品

和食の給食



「畑の蒲焼丼」

長門小学校
山口華さん



「みそ汁」

花畑北中学校
金子歩華さん

「塩麹づけの
やわらか鳥唐揚げ
おろしポコ酢かけ」

給食メニューコンクール & 足立オールおいしい給食デー

昨年度、おいしい給食の継続した取り組みが認められ、「ふるさとづくり大賞 地方自治表彰（総務大臣賞）」を受賞した足立区。さらに地産地消を進めていくために、今年度は「家庭の味大募集！小松菜を使った給食」をテーマに募集します。受賞作品の中から小学校、中学校それぞれ1作品が足立オールおいしい給食デーの献立になります。

ご家庭で大好きなメニューを給食にしてみませんか？夏休みに、親子でグループでぜひ挑戦してみてください。

みんな覚えてね！
小松菜は足立区の特産品なんだよ！



今年度のテーマ

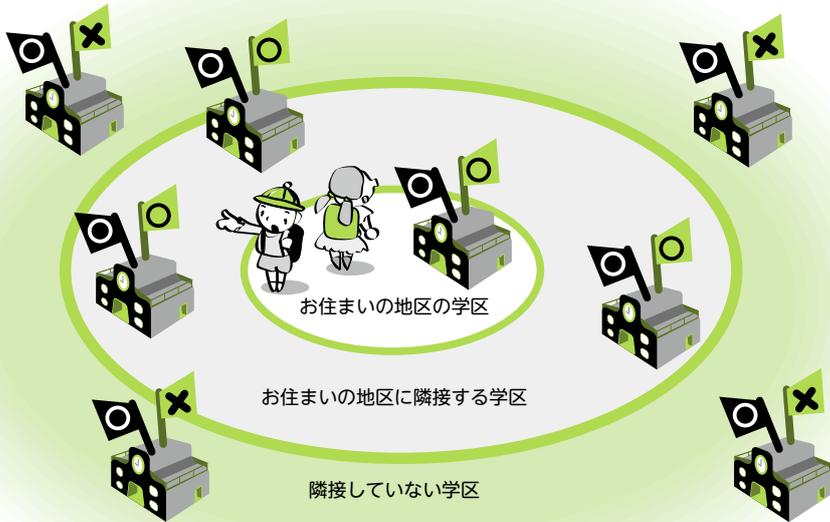
「家庭の味大募集！」 小松菜を使った給食

平成30年度から

小学校の学校選択 制度が変わります

教育委員会では昨年度、「足立区教育改革に伴う施策の検証及び評価に関する有識者会議」を設け、今後の学校選択制度のあり方を検討しました。その結果、災害時の対応などのために、平成30年度の入学者から、選択可能な学校の範囲を、小学校では原則として隣接学区域までとする規則改正を行いました。なお、中学校は従来通り、区内全域のままとなります。

…平成29年新小学1年生 …平成30年新小学1年生～
旗のマークが ○ …希望の小学校を選択できます × …選択できません。



教育委員会の活動

◆動き

(平成27年3月から平成27年6月)
教育委員会には定例会4回臨時会1回の開催を通じて35件の議案が付議され、審議の結果1件の取り下げを除き34件が可決されました。

《主な議案》

*足立区特定教育・保育施設、特定地域型保育事業等の利用者負担に関する条例について

*足立区教育委員会の権限の委任に関する規則の全部を改正する規則について

*足立区子ども・子育て支援事業計画の策定について

◆会議の傍聴

会議は傍聴することができます。希望される方はお問合わせください。

教育委員会の活動

- 3月 区立小・中学校卒業式出席
- 4月 教育委員協議会(2回)
臨時校長会出席
東京都教育施策連絡会出席
- 5月 教育委員協議会
第1回総合教育会議出席
- 6月 教育委員協議会(2回)
第2回総合教育会議出席

ありがとうございます 足立区育英資金寄附金

- 中村 政信様
- 梅田図書館まつり実行委員会様
- 早坂 浩志様
- (社)倫理研究所
- 家庭倫理の会 足立区様
- 匿名等 2名

問合せ先

- ◆給食メニュー
- ◆学校選択制度
- ◆教育委員会の活動
- ◆足立区育英資金寄附金

学務課 学務課 教育政策課 学務課
おいしい給食担当 就学係 庶務係 助成係

☎ 3880-5427
☎ 3880-5969
☎ 3880-5961
☎ 3880-5977



第2回 全国中学校 リズムダンス ふれあいコンクール 自由曲部門 文部科学大臣賞 受賞!

上沼田中学校

かみぬまたPRIDE
(当時1年生1組・2組)

◆ 全国大会会場の赤坂 BLITZ で渾身のダンスを披露

体育担当の岡本先生は、「生徒に本物を体験させたい」と、ダンスに精通した知人に指導の協力をお願いしました。練習を重ねる中で、生徒たちの「周りを楽しませようとする姿」に可能性を感じた先生は、クラスでコンクールへの参加を決めました。

リーダーの中澤さん、田代さん、池田さん、田中さんは、「最初はチームの気持ちはバラバラ。でも、みんなへの声かけを意識し、本番が近づくとつれて気持ちは高まっていった。それでも、何か足りなかった」とチームの様子を語りました。

そんな時、指導者たちは生徒たちを鼓舞すべく、サププライズでダンスを披露しました。その後のチームの変化を、リーダーたちはこう話します。「全部がまとまった。チームの結束が一気に高まり、思いっきり練習した」。生徒たちは、ダンスを教えてくれた指導者たちへ「恩返ししたい」と臨んだダンスでは「思いが込み上げて、みんなぼろぼろに泣いていた」と話します。

団結力を増したチームは、優勝という結果をつかみました。ダンス歴十数年の岡本先生は、「ダンスを見てこんなに感動したことはない。生徒たちは、感謝する気持ち、団結する素晴らしさ、そして何より素晴らしい仲間を得た」と大会を振り返りました。

すごいね! あだちの 子どもたち

VOL.15

第36回全国 JOC
ジュニアオリンピックカップ
春季水泳競技大会
女子400mメドレーリレーでも
2人の活躍もありチームは
優勝をつかみました。



第46回 ジュニア優秀選手 招待公認記録会 女子50m背泳ぎ

- 第1位 花畑北中学校
内藤 凜音 さん
(当時2年) 写真左端
- 第3位 花畑北中学校
内藤 葉音 さん
(当時2年) 写真右端

姉妹は良きライバル。同じ表彰台上った内藤凜音さんと内藤葉音さんは双子の姉妹。保育園の年長から水泳を始めて以来、ずっと一緒に練習に励んできました。

スイミングスクールのコーチである荒川氏は、姉の凜音さんを「時間がないうちでも筋トレに励んだり、練習を休まない努力家」、対して妹の葉音さんを「習ったことをすぐに身につけることができる天才肌」と評します。違うタイプの2人に共通するのは、負けず嫌いなこと。荒川氏は、「練習中に互いのタイムを気にして頻繁に確認しに来るなど、意識しあっている」と言います。

姉妹は「競い合って練習してきたから良い刺激になり、2人で成長してこられた」と話します。

14年ぶりに同じ中学生で日本代表に内定した「池江璃花子選手とも競えるような選手になる」という共通の目標に向って、これからも2人は高め合っていきます。